

件名

「地切り」ってなに？  
～県立和歌山工業高校生がみなとづくりを勉強します～

概要

私たち和歌山港湾事務所では、みなと・船を守り、台風等から地域を守る「防波堤」を和歌山下津港で作っています。  
防波堤は、「ケーソン」という大きなコンクリートの箱を並べて作ります。  
その工事の一部を、受注者である(株)不動テトラの協力のもと、県立和歌山工業高校生に見学してもらい、みなとづくりを実感してもらいます。

ケーソン据付の見学会

◆日時 平成24年10月26日(金)  
7:00～9:30

◆場所 和歌山下津港 北港地区作業ヤード

※集合場所・時間について

新日鐵住金(株)和歌山製鐵所(南門前)に午前6時50分厳守

- ★ 4階建ビルと同じぐらいの大きなケーソンを、大型クレーン船で据え付けるところを見学していただきます。
- ★ 見学会は県立和歌山工業高校の土木クラブ(8名程度)が見学予定です。

※なお、取材に関しては民間所有地を通行する必要があり、事前の手続きが必要です。(10/25木までに下記問い合わせ先まで連絡願います)  
本見学会は、作業ヤードの関係上、一般の方への見学は行っていません。  
ご了承ください。

取扱い

配布場所

和歌山県政記者室  
和歌山放送記者室・地方新聞記者室

問い合わせ先

国土交通省 近畿地方整備局 和歌山港湾事務所

総務課 福田・山中  
電話番号 073-422-8186

【当日集合時の連絡先】

(株)不動テトラ 現場代理人 浜口  
携帯番号 080-2130-1855

# 「地切り」ってなに？

～地元高校生がみなとづくりを勉強します～

私たち和歌山港湾事務所では、みなと・船を守り、台風等から地域を守る「防波堤」を和歌山下津港で作っています。防波堤は「ケーソン」という大きなコンクリートの箱を並べて作ります。今般、陸上製作済みのケーソンを日本最大級の大型作業船で吊り上げ、防波堤現地に据え付けるところを県立和歌山工業高校の土木クラブの皆さんが見学します。

## ※「地切り」とは？

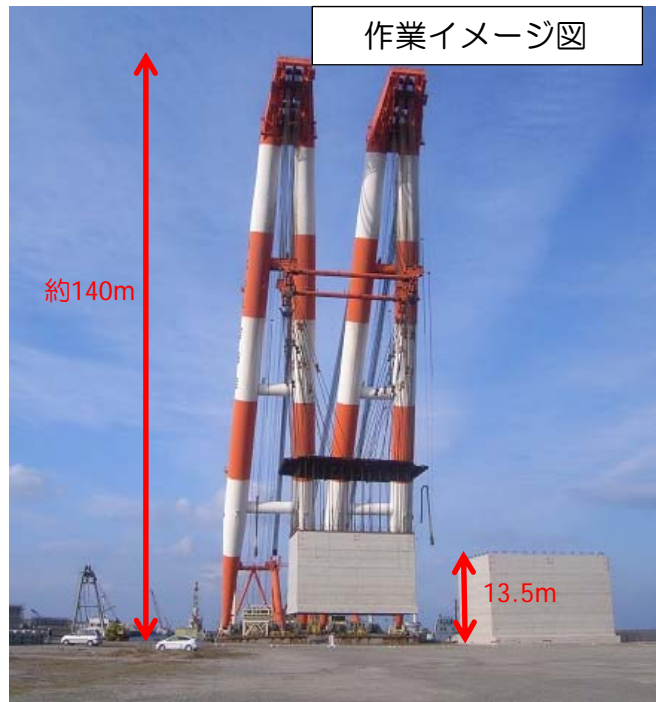
ケーソンは、高さ13.5m、巾14.9m、長さ16.4m、重さ約2,100トもあります（ほぼ4階建てのビルと同じです）。この大きなケーソンを大型起重機船（大型クレーン船）を使って吊り上げ、地面から切り離すことを「地切り」と言います。地切りの際には、バリバリといった大きな音がします。吊り上げたケーソンは北港の製作場所から第一線防波堤現地に作った石の土台（基礎マウンド）の場所まで船で運び、きれいに並べます。



### 見学会担当

近畿地方整備局 和歌山港湾事務所  
担当 福田・山中 073-422-8186  
【当日集合時の連絡先】  
(株)不動テトラ 現場代理人 浜口  
080-2130-1855

## 作業イメージ図



日時：平成24年10月26日（金） 午前7時から

集合場所・時間：新日鐵住金(株)和歌山製鐵所（南門前）  
午前6時50分厳守

※なお、取材に関しては民間所有地を通行する必要があり事前の手続きが必要です。10/25木までに、下記担当まで連絡願います。

### 当日プログラム

- 6：50 現地集合
- 7：30 ケーソン地切り開始
- 7：40 ケーソン吊り出し開始
- 8：40 ケーソン運搬開始
- 8：45 交通船乗船（海上現場へ移動）
- 8：50 ケーソン運搬状況見学
- 9：30 見学終了